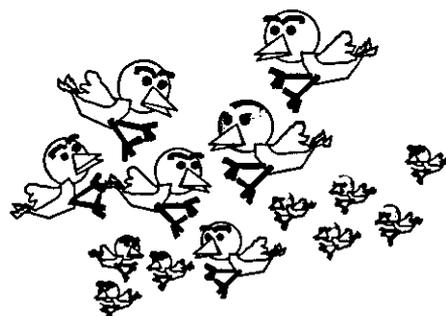
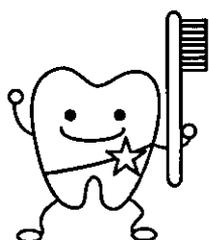


事業の評価	<p>子どもが作れる料理教室参加者数とアンケート調査の回答で評価する。昨年の調査では、料理が楽しい、また参加したいとの回答者は 82.5%、家で話をするとの回答者は 69.3%であり、料理教室は効果的な事業と考えられる。</p> <p>講演会の参加者数。</p> <p>朝食実態調査を全小・中学生に行い、経年的変化において評価する。</p> <p>今後は、地域の中で、子どもへの食育支援事業(料理教室等)の開催及び参加者数を評価に加える。</p> <p>■今後も継続する</p>
今後の課題	<p>料理教室を地域で開催しているが、地域住民としての参加は食推員、民生員、保健委員が多数を占めている。今後は地域住民、保護者への呼びかけを強化する。</p> <p>児童・生徒への生活習慣病予防支援を保護者からの申込制で行っているが、小児生活習慣病についての認識が薄い保護者に対し、意識の向上を図る為の支援が必要である。</p>
取り組みの事業に関するホームページ	<a href="http://www.shuzenji.kyogikai.mishima.shizuoka.jp/">http://www.shuzenji.kyogikai.mishima.shizuoka.jp/</a>
キーワード	<p>健康と医療 健康教室 子どもの教室</p> <p>■食育の推進</p>
<p>**** コメント ****</p> <p>ここに注目！ 広く関係機関の連携調整を図り、住民を強く巻き込んだ形の取り組みは近年増加してきているが、そういった取り組みの雛形になりうるものである。小中学生の経年的な悉皆調査による評価は質が高い。エビデンスは？—</p> <p>* 評価法もいろいろ工夫している。参加者/対象者割合での評価もあろう。自主参加の場合の参加者の意識の評価は難しい面があるが、また参加したいという意見が多いことは事業として評価されていることになる。(NK)</p>	



鹿野町立保健センター：学校・地域歯科保健推進連携モデル事業		
〒689-0425 鳥取県気高郡鹿野町今市 650 (TEL) 0857-84-2431、(FAX) 0857-84-3709 (E-Mail) kenkou@town.shikano.tottori.jp		
人口 4,440 人(出生数 20 人) 母子保健担当者：事務・保健師・栄養士、全保健師数 2 人(母子保健担当保健師数 1人) 区分：市町村		
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備</li> <li>■健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ</li> </ul>	
事業の背景	町のむし歯保有率および学校におけるむし歯処置率が他町村と比べて悪い傾向にあり、地域と学校が連携してむし歯予防に取り組んでいく必要がある。また子供のむし歯予防をとおして大人の口腔衛生にも取り組んでいく必要がある。平成13年度より県のモデル事業の指定を受ける。	
提案者	母子保健担当者 その他(県のモデル事業)	
事業のねらい・目標	<p>小、中学生のむし歯保有率の低下とむし歯処置率の向上を目標に、幼児期から学童期にかけての子供および保護者の意識の向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める</li> <li>■住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する</li> </ul>	
数値目標	あり	
事業内容	対象	幼児 学童 父親 母親 妊産婦 家族 関係者・関係機関
	実施期間	平成 13 年 4 月 ~ 平成 16 年 3 月 3 年計画
	実施内容	<p>地域と学校関係者との連絡会の開催。各機関でできる事業に取り組んでいく。特に小学校では「歯と口のモデル指定校」の指定を受けたこともあり、授業の中に歯科保健の内容を取り入れたり、地域の人材をゲストティーチャーとして招き連携した事業を展開した。行政無線の中に歯磨きソングや川柳を流す。町報の活用。歯科医院に行き易くするため幼稚園の歯科健診を歯科医院で行う。「歯磨きステッカー」を作成し対象者に配布する等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■既存事業の工夫</li> <li>■ネットワークの推進</li> <li>■マニュアル・ガイドラインの作成</li> <li>■人材育成の強化(研修等)</li> </ul>
	協力機関	保育園 幼稚園 学校 教育委員会 診療所
	住民参画状況	計画から参加
	従事者内訳	保健師 栄養士 歯科医師 歯科衛生士 事務職員 保育士 教員 養護教諭
	補助金・助成金	都道府県 市町村

事業の評価	平成16年度までに小学校入学時のむし歯保有率を75%以下に、中学校入学時については80%以下にする。 数値目標を評価した。
今後の課題	県のモデル事業は平成14年度までであり、今後は町の事業として継続した取り組みを展開する。
キーワード	歯科保健 学校保健 ■妊娠中からの母子歯科保健の推進
<p>**** コメント ****</p> <p>ここに注目！— 行政無線を歯科保健にまで活用している事例はあまり見かけない。町の規模の小ささの利点(軽いフットワーク)をよく生かし、様々な組織同士がよく連携している。また、具体的な目標値が示されており、事業の適切な評価に結びつくことが期待される。</p> <p>エビデンスは？— 歯磨きソングや川柳は、これまでの事例から”はやる”とかなり大きな効果が期待できる。県モデル事業終了後の継続性に期待したい。歯磨きソングや川柳の認知率なども調査してみると、事業の浸透度が分かるだろう。また、円滑な連携の秘けつもぜひ知りたい。(NK)</p>	



<b>深浦町福祉課：禁煙・防煙対策</b>		
〒038-2324 青森県西津軽郡深浦町大字深浦字苗代沢 84 の 2 (TEL) 0173-74-2111、(FAX) 0173-74-4415 (ホームページ) <a href="http://www.town.fukaura.aomori.jp/">http://www.town.fukaura.aomori.jp/</a>		
人口 8,930 人(出生数 48 人) 母子保健担当者:事務・保健師・栄養士・その他(看護師)、 全保健師数 5 人(母子保健担当保健師数 2 人) 区分:市町村		
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■思春期の保健対策の強化と健康教育の推進</li> <li>■妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援</li> <li>■小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備</li> <li>■子どもの心の安らかな発達促進と育児不安の軽減</li> <li>■健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ</li> </ul>	
事業の背景	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 妊婦喫煙率は 20.8%、同居者の喫煙率は 80.2%と高い。</li> <li>2. 喫煙経験率は、年齢が進むにつれ高くなっている。(小学生 8.5%、中学生 29.4%)</li> <li>3. 平成 12 年 9 月「健康長寿のまち」宣言。平成 13 年 4 月 1 日「深浦町自動販売機の適正な設置及び管理に関する条例」施行。</li> </ol>	
提案者	住民 自治体の長 母子保健担当者	
事業のねらい・目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 禁煙が及ぼす健康影響について知識の普及。(妊婦指導の強化)</li> <li>2. 保育園、小中学校を対象とした喫煙予防教室を毎年実施。(平成 12 年小中 100%、平成 18 年 100%)</li> <li>3. 公共の場および職場における分煙、禁煙の徹底。</li> <li>4. たばこの自販機の屋外からの撤去</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>■住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める</li> <li>■住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する</li> <li>■住民が健康のために、より積極的な行動を継続できるように支援する</li> </ul>	
数値目標	あり	
事業内容	対象	幼児 学童 思春期 父親 母親 妊産婦 家族 関係者・関係機関
	実施期間	平成 14 年 4 月 ~ 平成 18 年 3 月 4 年計画
	実施内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 町長が先駆けて禁煙。</li> <li>2. 小中学校を対象に予防教室実施前後にアンケート調査実施。</li> <li>3. 健康教育は、紙芝居、ビデオ上映、講話、実験、健康劇(保健協力員による)</li> <li>4. 保育園、学校、地域が一体となり町ぐるみの取り組みを推進していくため、「こどもの時からの健康づくり推進協議会」を立ち上げたが、うまく連携がとれていない。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>■既存事業の工夫</li> <li>■個別支援や集団支援のツール開発</li> <li>■ネットワークの推進</li> </ul>

協力機関	保健センター・保健所 保育園 学校 教育委員会 診療所
住民参画状況	計画から参加
従事者内訳	保健師 医師 教員 養護教諭
補助金・助成金	市町村
事業の評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 未成年者の喫煙経験率をなくする。</li> <li>2. 妊婦の喫煙率を減らす。</li> <li>3. 防煙教育を実施する保育園、学校数を増やす。</li> <li>4. 禁煙することに関心がある人を増やす。</li> </ol>
今後の課題	学校関係者(特に養護教諭)、保護者とどう連携していくか。
取り組みの事業に関するホームページ	<a href="http://www.town.fukaura.aomori.jp/行政情報/新条例/a-4.html">http://www.town.fukaura.aomori.jp/行政情報/新条例/a-4.html</a>
キーワード	深浦町 たばこ ■地域の子育て支援の充実
<p>**** コメント ****</p> <p>ここに注目！首長の禁煙は重要。町の問題点を、基礎データによって明確に把握しており、その問題意識に裏づけされた「やる気」が伝わってくる。ほかの自治体の連携の成功事例を参考にして活動を進め、今後の具体的な取り組みの成果に期待したい。</p> <p>エビデンスは？— 評価の時期の設定と、より具体的な目標値を設定することで、取り組みの客観的な評価が可能である。(NK)</p>	



<b>大多喜町健康福祉課 : 地域けんこう委員会・大多喜中学校区けんこう委員会</b>		
〒298-0292 千葉県夷隅郡大多喜町大多喜 93 番地 (TEL) 0470-82-2111、(FAX) 0470-82-4461 (E-Mail) kenko@town.otaki.chiba.jp		
人口 11,613 人(出生数 72 人) 母子保健担当者: 事務・保健師・栄養士 、 全保健師数 3 人(母子保健担当保健師数 3 人) 区分: 市町村		
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■思春期の保健対策の強化と健康教育の推進</li> <li>■健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ</li> </ul>	
事業の背景	子どもの頃からの食習慣・生活習慣が今後の健康づくりに影響することが考えられ、学校との連携により、よりよい取り組みと、地域の生活習慣病予防を図る。	
提案者	その他(地域の小中学校)	
事業のねらい・目標	<p>子どもの心身の健康管理と健康意識の向上。また地域の健康づくりに生かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する</li> <li>■住民が健康のために、より積極的な行動を継続できるように支援する</li> </ul>	
数値目標	なし	
事業内容	対象	学童 父親 母親 家族 関係者・関係機関
	実施期間	平成 14 年 4 月 ~ 平成 18 年 3 月 4 年計画
	実施内容	<p>(高血圧について)小中学校の尿中塩分測定。 学童と生徒によるみそ汁の塩分調査結果発表。 保健師による生活習慣アンケートの実施と結果発表。 (朝食について)栄養士による朝食についての講義と、小中学校の朝食アンケートの実施。 (歯科について)児童・生徒・学校職員による給食一食分の咀嚼調査・ 生徒による祖父母の咀嚼についての調査発表 (貧血について)バランスのよい食生活について実施</p> <p>■既存事業の工夫 ■ネットワークの推進</p>
	協力機関	保健センター・保健所 学校 教育委員会 診療所
	住民参画状況	なし
従事者内訳	保健師 栄養士 医師 歯科医師 教員 養護教諭	
補助金・助成金	なし	

事業の評価	近隣地区の小中学校が合同で学校保健委員会を開催することにより、小・中一貫した取り組みが行えた。
キーワード	思春期 母子保健 栄養 運動 食生活 歯
<p>**** コメント ****</p> <p>ここに注目！— 基礎的調査を詳細に行なっていることはすばらしい。塩分調査等を、対象者である学童、生徒によって行なうことは、対象者の主体的参加につながる良いアイデアだろう。自分の家の味噌汁について調べられた親側としても、地域担当者に調べられ、指導を受けるより、子どもとのかかわりの中での啓発が行なわれる点で、より高い、効果が期待できるかもしれない。祖父母にまで子どもからアプローチさせるのもユニークで、世代を超えた家族ぐるみの健康教育につながることを期待できる。(NK)</p>	



<b>三厩村役場 健康福祉課 : 喫煙予防教室</b>		
〒030-1798 青森県東津軽郡三厩村字本町 59 (TEL) 0174-37-2001、(FAX) 0174-37-2540 (E-Mail) hukuho_minmaya@net.pref.aomori.jp		
人口 2,810 人(出生数 15 人) 母子保健担当者:保健師、全保健師数 3 人(母子保健担当保健師数 3 人) 区分:市町村		
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■思春期の保健対策の強化と健康教育の推進</li> <li>■健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ</li> </ul>	
事業の背景	本村の妊娠中の喫煙率は国と比較して高い。また、成人式を迎えた人を対象にしたアンケートの結果、9割が未成年から喫煙習慣があることが分かった。小・中学生のアンケート結果でも喫煙経験があることがわかったため、未成年の喫煙を防止するため教室を実施する。	
提案者	母子保健担当者 その他(小学校と協議し、平成11年度は保健所事業、平成13年度からは村単独事業として小学校4年、6年を対象に実施。平成15年度は中学校の要望により、教育委員会と共催で全校生徒、保護者を対象に実施。)	
事業のねらい・目標	<p>ねらい:タバコの正しい知識の習得を図り、未成年期の喫煙を防止する。児童、生徒は興味で喫煙することなく、他の人に喫煙を誘われてもきちんと断ることができる。保護者は副流煙の害を知り、家庭内分煙を行うことができる。</p> <p>■住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める</p>	
数値目標	あり	
事業内容	対象	学童 思春期 父親 母親
	実施期間	平成 11 年 7 月 ~ 平成 24 年 7 月 13 年計画
	実施内容	<p>小学校:</p> <p>小学4年→講話、人体図の塗り絵(タバコを吸うと悪くなると思う部分に色塗り)、スモーキングガイを使用した実験、ビデオ。</p> <p>小学6年→講話、妊婦がタバコを吸うとどうなるかわかる人形を使った実験、ビデオ、フラスコを使った実験(タバコを吸わせるとフラスコ内の液体にタールがたまる)。児童は4年と6年に2回勉強し、タバコの害について学びを深める。</p> <p>中学校:薬剤師を講師とし、講話、実験(スモーキングガイ、喫煙者の一酸化炭素濃度検査)を行った。</p>
	協力機関	保健センター・保健所 学校 教育委員会
	住民参画状況	なし
従事者内訳	保健師 薬剤師 事務職員 教員 養護教諭	

補助金・助成金		国 都道府県 市町村
事業の評価	小学生には教室開催前後にアンケートを書いてもらった。喫煙してみたいと思ったことがある児童は教室開催後減っている。教室開催後、児童には感想や自分で考えたタバコの断り方を書いてもらった。中学生には感想文を書いてもらった。評価は児童生徒が成人式を迎えた時にアンケートをとり、喫煙経験者数、喫煙開始年齢等を把握する。	
今後の課題	児童の対象選定、回数の検討の必要がある。 (平成16年度は学校と協議し、小学校3・4年、5・6年を対象に、中・高学年の内容を変えて実施した。)	
キーワード	思春期 喫煙予防 ■思春期における性教育の推進	
<p>**** コメント ****</p> <p>ここに注目！— 成人式での実態調査から得られた事実を元に事業を組み立てる姿勢があるところが評価できる。対象者を20歳まで追跡して喫煙経験者数を評価しようとする点もよい。卒業後村を出た者も、成人式には多くは帰郷することを考えると、成人式での喫煙率調査による評価は質が高いものになるだろう。母子保健担当者主導の下、学校ともよく連携されている。</p> <p>エビデンスは？— タバコの断り方を実際に書かせることは一種のSST(social skill training)といえる。SSTの効果については多くの報告がある。さらに、20歳時点の喫煙経験者数をどれだけ減少させたいのか、という目標設定を行うことで、客観的な事業の評価になりもっとよい事業になる。(NK)</p>		



### 三厩村役場 健康福祉課 喫煙予防教室

◎ 学校の理解、協力が得られ、授業の一環として実施している事業です。

小、中学生に「タバコの害」「副流煙の害」を伝えることで、未成年の喫煙予防を図ると共に、家庭に帰ってから、家族に「タバコは体に悪いからやめて」「役場の保健師さんがタバコのやめ方教えてくれるって」と話す機会にもなっています。

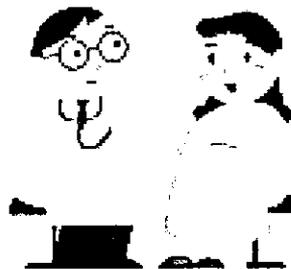
実際に「子どもにたばこやめろと言われればやめなきゃ」と禁煙した父親、「子どもから、タバコをやめられる方法を保健師が教えてくれると聞いて」と、禁煙相談があり喫煙者個別健康教育を行った父親もいました。

来年度は小学校の授業参観日に実施し、保護者も一緒に参加してもらうことにしました。また、春には町村合併を迎えますので、未実施の小、中学校でも実施していきたいと考えています。

母子保健担当

<b>鎌ヶ谷市健康管理課 禁煙教育・指導(母子健康手帳交付時)</b>		
住所〒273-0195 千葉県鎌ヶ谷市初富 928-744 (TEL)047-445-1141 (FAX)047-443-2233 E-Mail kenkan@city.kamagaya.chiba.jp		
人口 102,880 人(出生数 985 人) 母子保健担当者:保健師 栄養士 歯科衛生士、全保健師数 14 人(母子保健担当保健師数 7 人) 区分:市町村(保健センター等)		
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援</li> <li>■健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ (栄養・食生活の改善・身体活動・運動の推進・歯の健康の推進)</li> </ul>	
事業の背景	H14年度の母子健康手帳交付時妊婦の喫煙率 12.0%と高率のため。	
提案者	母子保健担当者	
事業のねらい・目標	<p>パンフレットを活用し、喫煙指導を行うことにより、当市における妊婦の喫煙率の減少を目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める</li> <li>■ 住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する</li> </ul>	
数値目標	数値目標あり	
事業内容	対象	妊産婦
	実施期間	平成 15 年 4 月 ~ 平成 18 年 3 月      3 年計画
	実施内容	母子健康手帳交付時に全数面接し、喫煙者に対し状況確認をし、「ママ、タバコ吸わないで」のパンフレットを利用し禁煙に向けての助言を行いその後、禁煙の希望がある妊婦に対して、個別禁煙相談を行なう。  ■既存事業の工夫 ■相談機能の強化 ■マニュアル・ガイドラインの作成
	協力機関	なし
	住民参画状況	なし
	従事者内訳	保健師
	補助金・助成金	なし
	事業の評価	○喫煙妊婦に対しては妊娠中に禁煙しているかを確認し評価を行う ○母子健康手帳交付時の喫煙率の低下。
今後の課題	思春期保健対策	

取り組みの事業に関するホームページ		<a href="http://www.city.kamagaya.chiba.jp/">http://www.city.kamagaya.chiba.jp/</a>
キーワード	妊娠 出産 母子保健 栄養 運動 食生活 歯 ■地域の子育て支援の充実	
<p>**** コメント ****</p> <p>ここに注目！通常役場窓口が担当する母子保健手帳交付場面で、保健スタッフが介入して指導を行なうことは大変重要である。その場の指導だけでなく、希望者を個別指導へとつなげるという点が評価できる。</p> <p>エビデンスは？</p> <p>妊婦の喫煙は若年女性の喫煙率の上昇で問題が顕著化している。いろいろな試みによって、なにが最も効果的な方法なのかを関係者が共有し、実践していきたい。そのためにも、それぞれの取り組みが科学的な評価をして、発信して欲しい。(NK)</p>		



<b>朝来町保健福祉課 健康な子どもを育てる協議会</b>		
住所 〒697-3431 兵庫県朝来郡朝来町新井 148 (TEL)079-677-1724 (FAX)079-677-1357 E-Mail hokenhukusi@town-asago.jp		
人口 0 人(出生数 0 人) 母子保健担当者:保健師、全保健師数 0 人(母子保健担当保健師数 0 人) 区分:市町村(保健センター等)		
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■思春期の保健対策の強化と健康教育の推進</li> <li>■健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ (栄養・食生活の改善・身体活動・運動の推進・歯の健康の推進)</li> </ul>	
事業の背景	平成9年度に小学生肥満児童の割合が県下でワースト4位だった。子どもの肥満は、生活習慣との関係が深いことから、子どもの食習慣・生活習慣について家族・地域ぐるみで考えるために保健福祉課(保健師・栄養士)、教育委員会、学校養護教諭等が協議会を発足。子どもの健康のための取り組みを関係者で検討している。	
提案者	自治体の長 その他	
事業のねらい・目標	<p>子どもの心身の健康問題について各関係者が検討し、取り組みへとつなげていく。家族・地域ぐるみで子どもの健康について考え、それが地域全体の健康にもつながるように支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める</li> <li>■住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する</li> </ul>	
数値目標	数値目標なし	
事業内容	対象	幼児 学童 思春期 父親 母親 家族
	実施期間	平成 10 年 2 月 ~ 平成 16 年 3 月 5 年計画
	実施内容	<p>栄養指導、歯科指導等を実施。またこれまでには、子どもの健康に関する標語を募集しその中から協議会の活動テーマを『あさ ひる ばん しっかり食べて元気に遊ぼう』に決定。特に「朝ごはんの大切さ」に重点を置いて「我が家の自慢の朝ごはん」メニュー等を募集、冊子にまとめた。また、幼稚園から中学生までを対象に子どもの生活習慣・歯科アンケートをとり、子どもの健康問題を見直し検討している段階である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■既存事業の工夫</li> <li>■ネットワークの推進</li> <li>■調査・研究</li> </ul>
	協力機関	保健センター・保健所 福祉事務所 子育て支援センター 保育園 幼稚園 学校 教育委員会 その他(町内開業医師)
	住民参画状況	なし
	従事者内訳	保健師 栄養士 医師 歯科衛生士 保育士 養護教諭
	補助金・助成金	市町村

事業の評価	肥満実態調査年次推移より【4・5歳児】平成10年度 3.8% 14年度 1.7%／【小学生】平成9年度 12.9% 14年度 9.2%／○肥満児の割合は年々減ってきている。／肥満児の年次推移のほかにアンケートの実施等。そのほかの評価方法についても検討中。
今後の課題	協議会を発足させてから5年目に入り、これまでいろいろな取り組みをしてきた。子どもを囲む環境も少しずつ変化するなかで、そのときどきの健康問題にそった取り組みを検討し、継続していくことが必要である。また、子どもの生活習慣を考えると、保護者や家族全体の生活習慣を見直していく必要があるので保護者に対してもどう呼びかけていくか等も課題として考えられる。
取り組みの事業に関するホームページ	
キーワード	心身 ■なし
<p>**** コメント ****</p> <p>ここに注目：強い問題意識を背景に、関連機関の連携のもと、具体的な活動が進んでいる。重点課題を決めてアピールしていく点は高い啓発効果が期待される。「我が家の自慢の朝ごはん」のように、住民参加型、住民主役の啓発情報の配布は健やか親子21の理念をよく踏襲している。ポピュレーション・ストラテジーによる食育の推進、肥満予防といえる。地域全体の児童の肥満有病率を評価項目とする点は妥当である。(NK)</p>	



<b>福岡市城南区保健福祉センター 衛生課 : 親子でやろう乳幼児の O157 予防キャンペーン</b>		
住所 〒814-0103 福岡市城南区鳥飼五丁目 2-25 (TEL) 092-831-4219 (FAX) 092-822-5844 (E-Mail) eisei.JWO@city.fukuoka.jp (ホームページ) http://www.city.fukuoka.jp/index.html		
人口 119,000 人(出生数 1,044 人) 母子保健担当者、全保健師数(+母子保健担当保健師数): 記載なし 区分: 政令市・特別区(本庁・保健所等)		
事業課題	■健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ (栄養・食生活の改善・身体活動・運動の推進・歯の健康の推進)	
事業の背景	平成14年6月に区内の保育園で感染者126人(内園児86人)の O157 集団感染が発生。保育園や保護者の間から感染に対する不安を訴える声が根強いため、区独自の事業として城南区保育園長会と協力しながら企画した。	
提案者	その他(保育園)	
事業のねらい・目標	O157 のハイリスクグループである幼児とその保護者にターゲットを絞った予防啓発 ■住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める	
数値目標	数値目標なし	
事業内容	対象	幼児 父親 母親
	実施期間	平成 16 年 7 月 ~ 平成 16 年 8 月 1 年計画
	実施内容	子どもが親しみやすいよう、油山(区内にある山)に住む森の妖精「ニッコりん」と O157 の王様「ワルもん」というオリジナルキャラクターが登場するビデオ(約10分)とミニ絵本(「ニッコりんとワルものみんなでO157予防」)を作成し、区内の各保育園・幼稚園で、園児・保護者・職員を対象に計 28 回の O157 予防教室を開催した。 ■個別支援や集団支援のツール開発
	協力機関	保育園 幼稚園
	住民参画状況	■計画から参加
	従事者内訳	その他(食品衛生監視員)
	補助金・助成金	なし
	事業の評価	ビデオに対する子ども達の反応が良く、事後に「ワルもんが口に入ると病気になる」「ワルもんが来るから手を洗う」などの会話が見られた。保護者のアンケートから「焼肉の箸は盲点だった」「子どもに」はレバ刺しを食べさせないようにしたい」「子どもと一緒に手洗いをしたいと思う」「このような教室を定期的に行って欲しい」等の感想がみられた。

今後の課題	今後も保育園・幼稚園と協力して啓発活動をしていきたい なお、ビデオ、ミニ絵本については、城南区以外の保育園・幼稚園等へ販売している。
取り組みの事業に関するホームページ	
キーワード	O157、予防、ツール開発、ビデオ、絵本、幼稚園、保育園 ■子どもの事故防止
<p>**** コメント ****</p> <p>O157感染症は、とくに子どもや高齢者にとっては重篤な結果をまねく可能性が高く、その予防は確実・早急なものが望まれる。福岡市城南区では、過去の集団感染を繰り返さないために、対象を絞った予防啓発事業を展開している。幼児向けに特化した保健教材が少ない中で、オリジナルのキャラクターを作り、それらをビデオと絵本に登場させた予防啓発ストーリーを作るというたいへんに手の込んだ取り組みといえる。子どもたちの息をのむ姿が見えるようだ。予防教室を28回にわたって展開するなど、母親たちの不安の解消とともに予防行動を喚起しようとする本事業では早くも成果があらわれはじめているようだ。(KM)</p>	



Ⅲ. 「健やか親子21」公式ホームページ 取り組みのデータベースの使い方

# 「健やか親子21」公式ホームページ

—母子保健の2010年までの国民運動計画—

## □ □ メインメニュー □ □



健やか親子21

作成:2001年 5月18日  
更新:2005年 2月26日  
00277487



※「健やか親子21」について	※イベントと研修会情報
※取り組みのデータベース	※母子保健・医療情報データベース
※取り組みの目標値	※地方計画
※推進協議会	※E-サポート
※学校保健	※リンク

サイトマップ

このサイトについて

## □ □ トピックス □ □

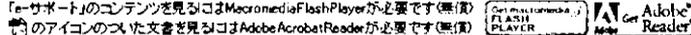
- 「いいおまプロジェクト」のHPへリンクしました。
- 3月4日開催「子ども家庭総合研究推進事業公開シンポジウム」
- 「地方自治体における思春期健康管理に関する調査」
- 健やか親子21取り組み情報のご提供ありがとうございます。

▶ 過去のトピックスはこちら

このホームページは皆様と共に作っていくページです。  
ご協力のもとよろしくお願い申し上げます。

厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)研究班  
Copyright 2001 by Zentaro Yamagata All rights reserved

「E-サポート」のコンテンツを見るにはMacromediaFlashPlayerが必要です(無償)  
アイコンのついた文書を見るにはAdobe Acrobat Readerが必要です(無償)



# 健やか親子21 取り組みのデータベース

地域や団体の取り組み(事業)を検索・登録できるデータベースです。

キーワードを入力して下さい

キーワード(簡易)検索

詳細検索

登録・修正

取り組み(本文)の登録はこちらから

○使用の手引き

○データベースについて

○メーリングリスト(ML)のご案内

○母子保健・医療情報データベース



子どもの事故予防の  
取り組みをしている  
地域は?

私達の地域の  
取り組みを  
紹介したい!

スタッフが少なければ、  
どんな取り組みができるの?

みんなで作ってみんなで活用しましょう!



健やか親子21(母子保健の2010年までの国民運動計画)に関して、保健所、保健所、区市町村、医療機関および民間団体が実施する母子保健サービスなどの取り組みのデータベースです。関係機関におよび健やか親子21の進捗状況を把握するとともに、これを活用することによって、区市町村等関連機関の連携を深め、健やか親子21推進に役立てることを目的としています。

健やか親子21  
トップへ



健やか親子 21 取り組みのデータベース

# 使い方ガイド



もどる

## 新規登録

1. トップページ「登録・修正」ボタンをクリックしてください

健やか親子 21 取り組みのデータベース

地域や団体の取り組み(事業)を検索・登録できるデータベースです。

キーワードを入力して下さい

キーワード(施設名称)

登録管理

**登録・修正**  
取り組み内容の登録しようかな

子どもの健康支援の取り組みをしている施設は?

健康の増進の取り組みを紹介したい!

スタッフが多忙いけれど、どんな取り組みができる?

みんなで作ってみんなで活用しましょう!

健やか親子21親子支援センターは、2005年までの国民生活センターの委託で、厚生労働省、自治体、民間団体、NPO等が連携して運営するデータベースです。登録・検索・利用の権利を第三者に譲渡することなく、このデータベースによって、各地で実施される様々な取り組みの親子支援センターに共有されています。

2. 都道府県と団体区分を選択してください

貴団体の都道府県と団体区分を選択して下さい。

都道府県 **山梨県** ▼

団体区分 **市町村(保健センター等)** ▼

次へ

山梨県

長野県

岐阜県

静岡県

愛知県

三重県

滋賀県

京都府

大阪府

兵庫県

奈良県

次ページへ続く

3. 団体情報の登録画面になります。説明に従い、入力してってください。  
 入力が終われば、「次へ」をクリックしてください。

項目	入力	公開にする
都道府県	山梨県 ※選択可能な変更する場合は、団体検索より選択し直して下さい。	
団体区分	市町村(保健センター等) ※区分を変更する場合は、団体検索より選択し直して下さい。	
団体名	旧やが町健康推進課(テスト)	
郵便番号	〒111-1111 6桁数字角で入力して下さい。	
住所	山梨県旧やが町	
電話・FAX	TEL 0000-00-0000 ※半角2-3桁角で入力して下さい。例012-345-6789内線9999 FAX 0000-00-0000 ※半角2-3桁角で入力して下さい。例012-345-6789	<input type="checkbox"/>
電子メールアドレス	 ※半角2-3桁角で入力して下さい。	<input type="checkbox"/>

4. 事業情報の登録画面になります。同様に入力してってください。

項目	入力	公開にする
事業名	旧やが町健康推進課	
事業内容	<input type="checkbox"/> 胎前産後の保健相談の強化と母体教育の推進 <input type="checkbox"/> 妊婦・出産に関する安全性と快適性の確保と子育てへの支援 <input type="checkbox"/> 小児保健関係の推進・向上させるための環境整備 <input type="checkbox"/> 子どもの心の安らかな発達促進と育児不安の軽減 <input type="checkbox"/> 健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ 育児・食生活の改善・育児活動・運動の推進・夏の健康の推進 子供の健康教育を早から強化する	
事業の位置	この位置を詳しく 知て早急に申請し、 理由等を記入して下さい。	
事業者	<input type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 自治体の員 <input type="checkbox"/> 母子保健担当者 <input type="checkbox"/> その他	

1 ページ上部へ移動

「健やか親子21」トップへ  
 「県」組みのデータベーストップへ

以下は登録公開内容の一覧です(掲載内容はサンプル)

団体名	〇〇県**保健所
住所	〇〇県〇〇市**町 1-2-3
電話・FAX	(TEL) 012-345-6789
	(FAX) 987-654-3210
E-Mail	hogehoge@hogehoge.jp
ホームページ	<a href="http://rhino.yamanashi-med.ac.jp/sukoyaka/">http://rhino.yamanashi-med.ac.jp/sukoyaka/</a>
人口	480,000 人
出生数	4,000 人
母子保健担当者	保健師
全保健師数	21人
母子保健担当保健師数	2 人
区分	都道府県保健所
事業名	薬物乱用対策～地域における予防・相談・援助のトータルプランの実現を目指して～
事業課題	思春期の保健対策の強化と健康教育の推進
事業の背景	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 薬物問題は「第3次覚醒剤乱用期といわれており、青少年の拡大があげられている。</li> <li>2 薬物問題には、予防対策と乱用者対策の双方向からのアプローチが必要であり、その対策の体系はできていない。</li> <li>3 薬物問題はその対応の際、司法・保健・医療など多方面からのアプローチが必要であるが、関係機関の連携はできていない。</li> <li>4 青少年の保護者だけでなく、地域の住民の意識も高くなく、問題意識をもっていない。</li> </ol>
提案者	母子保健担当者 その他(企画分野の保健師)
事業のねらい・目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予防対策として、小学生・中学生に重点をおいた薬物に対する正しい知識の普及を図るために、学校での健康教育の実施率をあげる。 現在小学生で3割・中学生で6割</li> <li>2 実施内容を整理して、広く教育が実施できるようにプログラムを作成する。</li> <li>3 プログラムを活用して、住民のボランティアの養成をする</li> <li>4 乱用者に対して対応するために、関係者のネットワークをつくる</li> </ol>
	<p>住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める。          住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する。          住民が健康のために、より積極的な行動を継続できるように支援する。</p>
	数値目標あり

次ページへ続く

事業内容	対象	思春期
	実施期間	平成14年4月～平成16年3月 2年計画
	実施内容	<p>1 学校において、小学生における健康教育の実施状況と教師の意識調査。  2 1の実践及び検討委員会（教育関係者・相談機関等）を開いて、平成14年度はプログラム（案）の作成。平成15年度はプログラム（案）の試行を行い、CD-ROMに保存して、各学校に配布  3 プログラムを活用してのボランティア講習会の実施と学校への紹介  4 乱用者対策については、関係者とのケース検討を行い、ケースマネジメントについて研修する。</p> <p>ネットワークの推進 ケアシステムの構築 調査・研究</p>
	協力機関	学校 教育委員会 警察 地域のボランティア
	住民参画状況	実施主体側として
	従事者内訳	保健師 養護教諭 その他(民生委員 保護司 ケースワーカー)
	補助金・助成金	市町村
事業の評価		<p>1 小学校・中学校での健康教育の実施率（教育長で調査しているので確認する）  2 プログラムCD-ROMの作成。  3 健康教育が実施できるボランティアの数（研修終了者の数）  4 ケース検討会の実施数</p> <p>今後も継続する</p>
	今後の課題	ボランティアの実践の推進
取り組みの事業に関するホームページ		<a href="http://rhino.yamanashi-med.ac.jp/sukoyaka/">http://rhino.yamanashi-med.ac.jp/sukoyaka/</a>
検索キーワード		薬物 健康教育 プログラム作成 教材 ボランティア育成 ケース検討会
この事業があてはまる項目にチェックされています		<input type="checkbox"/> 地域の子育て支援の充実 <input type="checkbox"/> 小児医療の充実 <input type="checkbox"/> 病気や障害のある子どもへの支援 <input type="checkbox"/> 子どもの事故防止 <input type="checkbox"/> 虐待の発生予防 <input type="checkbox"/> 思春期における性教育の推進 <input type="checkbox"/> 食育の推進 <input type="checkbox"/> 妊娠中からの母子歯科保健の推進